

経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和6年3月8日	開 会	10時00分	会議時間
		閉 会	15時58分	4 : 44
場 所	委員会室			
出 席 者	武藤委員長、松島副委員長、川原委員、川股委員、早坂委員、吉永委員、柏野委員 傍聴議員： 矢野議員、三上議員、新岡議員、小林議員、生本議員			
説 明 者	副市長、経済部長、建設部長、水道部長 外18名	傍聴者数	1人	
事 務 局	議会事務局長、同次長、同主査	記 者	3人	

会 議 の 経 過 事 項

西中経済部次長	<p>委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。</p> <p>●日程1. 所管事務調査について</p> <p>1) 報告事項 事故等発生(処理)報告について 資料説明 事故等発生(処理)報告書</p> <p>【質疑】 なし</p> <p>日程1. 所管事務調査について終了</p>
山下管理課長 大林公園緑地課長 栗野市営住宅課長 佐藤事業調整課長	<p>●日程2. 建設部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ⑪令和5年度 除排雪の状況報告について 資料説明 ⑫恵庭市公園施設長寿命化計画の策定について 資料説明 ⑬恵庭市公営住宅等長寿命化計画の見直しについて 資料説明 ⑭千歳川流域水害対策計画について</p>
吉永委員	<p>【質疑】</p> <p>① 資料⑪、大雪後2週間で北広島市と千歳市を回り、除排雪の状況を確認しました。コンペティターとして他の市を見て、恵庭市の除雪がどうかという観点で見たところ、非常に満足のところだと思います。ただ、1月22日でしたか、突然大雪、重たい雪が降ったときに、初動が若干遅れたのではないかと、ということがありました。また排雪もしていますが、通学路付近の交差点の見通しに若干問題があります。また、生活道路が確保された後、車のはまるような緩みが見られたときの除雪もしくは排雪、ここにも若干問題があると思います。その対策等を伺います。</p> <p>② 資料⑫、近年遊具を逐次更新しており、子どもたちの満足度も上がり、お母さん、お父さんから子どもを育てやすいまちだと言われています。他の面から見ますと、公園の役割としてレクリエーション空間、子どもたちも含め大人</p>

<p>山下管理課長</p>	<p>の空間でもあり、都市景観の形成から環境改善、防災向上、交流空間と場合によっては、生物多様性として、例えば本州の方が多いのでしょうが、トンボが育つ池という考え方もありますが、今子どもの遊具を中心に整備していますが、今後の進め方について伺います。</p> <p>① 除雪の作業は朝の通勤通学時間に間に合うように、21時から23時頃を目途に出動しますが、1月23日の場合、天気予報では23日の日中から大雪になるという報道もあり、警戒していましたが、前日の夕方から雪が降り出し、23時頃から急に大雪になっています。除雪の初動について、23日の日中も逆に、大雪の後に暖気になるという予報だったことから、歩道除雪は、雪の落ち着いた午前3時半から出動し、車道除雪と生活道路は、朝の通勤通学時間を避け、8時半から出動しています。幹線道路は大体13時、午後から夜にかけて実施しましたが、日が明けてからも雪が降り止まなかった状況で、天気予報を見誤ったということもあり、想定以上に道路に雪が積もる状況で、交通に支障が出て、実際にトレーラーがはまったりという状況になっています。今後も、天気予報を注視し、除雪の出動の体制を整えていきたいと考えています。</p> <p>交差点排雪ですが、現在、除雪車の排土板に残った雪はどうしても交差点に積むこととなります。今期は、連続した降雪もあり、交差点の雪山がかなり大きくなり、歩行者にかなり迷惑をかけましたが、今回新雪で積まれた交差点への積みと、あと2月に思わぬ暖気が来て、ザクザク路面を削った雪を交差点に積み、それを処理するように、2回交差点排雪を実施しています。どうしても交差点の雪山が大きくなり、路肩や交差点の雪山が高い、大きい、見えづらいという苦情が、全体の苦情の約2割を占め、一番多くなっています。今後も、交差点排雪は苦情が出ないように、また交通に支障ないように実施したいと考えています。</p> <p>ザクザク路面は、主に生活道路で発生しますが、生活道路ではマンホールの突出もあり、除雪車による道路の破損を防ぐため、まず最初は圧雪して不陸を取りながら除雪しています。また、間口に寄せられる雪、交差点に積む雪も、運転手が、掻く雪を調整しながら除雪しています。このため、降雪が続くと、だんだん路面の圧雪が厚くなり、暖気が来ると一気に融けて車両の走行が困難な状況になってしまいます。この整生作業により、また道路が狭くなったり交差点の雪山が高くなりますが、交差点排雪は速やかに処理をするよう考えています。今年の雪の降り方によって、かなり路肩の山、交差点の山が大きくなりましたが、こちらを排雪で処理するように考えています。</p>
<p>大林公園管理課長</p>	<p>② 今回の長寿命化計画は、今ある公園の施設をいかに安全に保つかを目的にした計画で、公園の遊具、フェンスなどの更新を中心に考えている計画です。また、街区公園の再整備計画という別の計画もあり、こちらは面的に公園をリニューアルしていく計画です。さらに、今進めています恵み野中央公園の再整備に向けた検討もあり、大きな公園についても、部分的ですが面的なリニューアル、周辺の求めているものと、公園の施設が合致してないところに着目したりリニューアルを検討しています。今後の利用については、公園のあり方等検討委員会を設置し、昨年11月から始めており、この委員会では、公園の運営、管理</p>

<p>吉 永 委 員</p>	<p>のあり方に着目して議論を進めています。今後の利用についても、社会情勢がこれからも変化していく中で、公園の果たすべき役割、例えば遊具などで遊ぶレクリエーション機能、緑を楽しむ機能、災害時の拠点となる機能、いろいろな機能を持っていますので、今後の方向性について、この委員会の中でしっかりと議論したいと思っています。</p> <p>除排雪初動の件わかりました。天気と勝負をしなければならず、大変だと思いますが、できるだけ交通障害が起きないように方法をお願いします。</p> <p>③ ①除雪を民間の業者に委託していますが、技術レベル、例えばある場所では除雪の際に往復1回行って戻ってやるとか、技術レベルの違いにより、うまく技術伝承されないと、急ぎの場合、ゆっくりの場合とかあるでしょうが、技術レベルの平準化、何かされているのか伺います。</p>
<p>山 下 管 理 課 長</p>	<p>④ ①今年から町内会に対する除雪機の貸出しと排雪トラックの手配をしていますが、この状況について伺います。</p> <p>⑤ ②今防災の観点からとありましたが、冬場の公園は雪に埋もれて、誰も入れない状況です。防災では一時避難場所になっていて、先の厚真の地震のとき、怖いので建物から離れて避難し、駐車場のような広場に人が集まる傾向にあると思います。冬、例えば町内会が管理するか、話し合いの中なのかもしれませんが、ママさんダンプ程度の雪は、公園の中に置かせてもらう、その中で公園の中心部に避難できる場所を作るといことも検討ができないのか伺います。</p>
<p>大 林 公 園 管 理 課 長</p>	<p>③ 除雪は、業者ごとに地域が分かれており、確かに除雪オペレーター技術レベルで出来栄の差があり、市民からの苦情等も、前の運転手は良かったのに、業者変えてくれないかとの意見もあります。除雪のオペレーターは、年々減少しており、業者も、今期は昨年度よりも、1社除雪から撤退するという状況で、オペレーターの確保に各業者も非常に苦慮しています。実際直営も、なかなか除雪の運転手に応募がなかったという状況もあります。実際に格差については、できるだけ平準化、技術レベルが上がるように、今後除雪センター、まち組ですが、運転手の研修会等を開いて、技術力を上げていきたいと考えています。</p> <p>④ 今期、小型除雪機6件、ダンプ支援8件の申請があり、実際に10日にも予定がありますが、5町内会に活用してもらっています。</p> <p>⑤ 現在、一時避難場所として指定されている公園、72公園あります。冬期間は雪があり避難できないとのことですが、地域防災計画の中でその取り扱いを規定しており、積雪期に一時避難所が使用に適さない状態にある場合、近くの収容避難所及びその敷地を使用することと規定しており、公園が冬場使えない場合は、例えば収容避難所となっている小学校の駐車場や、冬場でも逃げられる位置に避難してくださいという規定になっています。公園のあり方等検討委員会では、できるだけ公園を利活用してほしいという趣旨のもとに、令和6年度に各町内会にヒアリング調査を実施し、まず今どういうことが公園で行われているのか、さらには、今後どういうことをやっていきたいかを調査しようと思っています。この中で、例えば一時避難所として使用するため、冬季間ずっと除雪するのは現実難しいですが、冬にイベントを開催したいので、それに合わせて除雪を入れると、一度除雪に入ると一定期間その広場は確保されるので、</p>

吉永委員	<p>一時避難所としても使えるのではないかと、こういった検討ができると思いますので、今後町内会とも相談しながらよりよい方法を検討したいと思います。</p> <p>除排雪について、町内会の貸出しの除雪機とトラックの状況はわかりました。次年度以降に繋げるようにPR等もお願いします。問題点も、ヒアリングして、改善していただくようお願いします。</p>
山下管理課長	<p>⑥ 近年温暖化で重たい雪が降り、プラスの温度からマイナスの温度、マイナス15度になるなど、あり得ない温度差が出ています。すると、舗装道路にクラックが入って、そこが凍結して広がって痛みが激しくなり、除雪、排雪も大切ですが、春になる前に、プラス温度のときに早めに穴の補修をしないと、補修費用が大きくなるため、現在の除排雪と、補修、それから未来に向けてその予算をどう考えているのか伺います。</p>
山下管理課長	<p>⑥ 融雪期になると、路面上の水が舗装のクラックに染み込んで凍結することにより膨張して舗装面が壊れる状況、こちら、ほとんど3月以降の融雪期に多く発生します。今年度は、路面補修は約1,200万円の予算を確保しており、冬に概ね3割、今年は雪が遅かったこともあり、また2月に暖気、一回舗装面が出たこともあり、約3割補修しています。来年度ですが、今後地球温暖化も進んできて、道路の傷みも老朽化も大きくなってきていることもあり、来年度は、1.1倍ぐらい、大体1,340万円ほどの予算を路面補修に用意し、またその中で、春から秋にかけて大体7割、冬場に3割、これを補修費用として充てることで考えています。</p>
早坂委員	<p>① 今年も排雪が不十分だったと思います。主要な幹線道路でも1車線、片道1車線が除雪されていなくて、車が通行する際、十分な余先がなかったという苦情が結構出ています。令和3年度の大雪で排雪が重要なのは教訓としてわかっていたと思いますが、今年も排雪が少なかったのはどうしてか伺います。</p>
山下管理課長	<p>① 令和3年度の大雪を踏まえ、小・中学校の3学期が始まる前に、1回目、学校周辺の排雪を進めるよう計画していましたが、1月中旬までは少雪で路肩にほとんど雪がなく、排雪の時期を順延していました。その中で、1月12日から16日の間で一気に降雪があり、路肩や交差点の雪山が大きくなったため、幹線道路の拡幅、まず道幅を広げるのを16日に開始し、17日から学校周辺や通学路、バス路線など準幹線の排雪を開始しました。また、22日から25日まで50センチほどの降雪があり、そちらの時期に除雪作業を実施したため、26日から排雪を再開し、委託業務では22日間、59路線40.9キロの排雪を実施しました。今期、一気に雪山が大きくなったことから、排雪の日数も昨年の倍かかっており、雪を投げている量も、1.2倍から1.3倍ぐらいになっています。延長は昨年と同程度を実施しましたが、日数がかかったこと、それにより通行に支障が出る期間が長くかかったこと、こちらは今年度の反省点として踏まえ、来期以降も、速やかに排雪作業を進めたいと考えています。</p>
早坂委員	<p>② 排雪は除雪に比べて費用がかなりかかるため、予算が足りなかったのか、それともオペレーター不足で、排雪が十分にできなかったのか伺います。</p>
山下管理課長	<p>② 今期大雪だったこともあり、排雪の予算は、当初予算では不足という事態が</p>

早坂委員 山下管理課長	<p>見えたことから、予算を流用して排雪予算を確保して実施しています。また、オペレーター不足で排雪が進まなかったのではなく、昼間一班、夜間一班で、排雪の体制を組んでいました。そのため排雪に要する日数がかかっています。</p> <p>③ 排雪の予算を流用したのは、当初予算が少なかったのですか。</p> <p>③ 昨年並みの雪であれば、今期の予算で足りたのですが、路線排雪で倍の日数がかかったこと、あと生活道路の交差点排雪が1回の予定でしたが、2回実施し、また、雪山がかなり大きかったため、交差点排雪も予算を流用して、当初予算では不足したということになっています。</p>
川股委員 山下管理課長	<p>① もうすぐ3月も終わりますが、今年度はもう排雪はしないのか伺います。除排雪機器の貸出しは、思っていたよりも使ってもらっていると思います。まだまだ使ってほしいですが、排雪をこれからやるかどうかによって、貸出しが、年度またいでも必要になると思いますので、排雪について伺います。</p> <p>① 年度内は、委託業者の排雪は一区切りついたと考えています。直営も、今日も排雪を実施していますが、今日が最後で計画しています。</p>
川股委員 山下管理課長	<p>② 今期の冬は、雪もそれほど多くなく、上手に除排雪したと思います、幹線道路、通学路は。ただし生活道路、路地は、少し交差点側が積み込まれてしまい、見通しが悪かったり、通行に支障をきたしている箇所が何ヶ所かあったと思います。実は昨日、委員会もありましたが、自分の除雪機で町内会一回りして、角の溜まっている雪を全部押し上げて、車が通りやすくしたんですが、除排雪機器の貸出しも、一段落したのであれば、町内会の力を借り、これから融けるであろうけども、通行の支障になっているところをみんなの力で処理していくべきと思います。この機材、確かリースだと思しますので、そろそろ期限が来て返さなければならないと思いますが、使いたいときに物がなくてできません。来年度に向けてどのように考えているのか伺います。</p> <p>② 今も残っている交差点等の雪山ですが、いろいろ作業していただき、ありがとうございます。今町内会へ貸出している除雪機は、リースのため、期限が3月18日までとなっています。今後、貸出ししたところは実際使ってみてどうだったか、感想や使用してわかったことなど、アンケートをして今後の検討材料にしようと考えていますが、来年度も町内会等に貸出しの周知や、いろいろ意見を出していただき、可能な限り反映したいと思います。また、排雪は一旦終了と考えていますが、排雪ではなく、交差点の雪山、ショベル等での、まだ作業は可能ですので、もし危険性の高い場所等があれば、連絡いただければ現地を確認した上で、必要であれば処理したいと考えています。</p>
川股委員 山下管理課長	<p>③ ダンプは運転手が付いてますよね。今季はもうできないのか、それとも今日中、明日までに頼めばオペレーターも含めて、機材貸しをして、雪山積んで、捨てて来るのを町内会でやることは可能か伺います。</p> <p>③ ダンプも18日までとしています。実際に、頼むのに2週間から3日前に連絡をもらえれば、集合場所を調整し、ダンプの空いている業者を探しますので、18日の3日前までに連絡もらえれば対応したいと考えています。</p>

<p>松 島 委 員</p>	<p>① 資料⑫、5ページの更新費用の検討ですが、更新費用、10年間でかなりの金額がかかると感じました。10億9,000万とのことですが、現計画では、更新費用はいくらだったのか伺います。</p> <p>② 市内の公園施設、現在74公園と思いますが、トイレの洋式化はどの辺まで進んでいるのか伺います。</p>
<p>大林公園管理課長</p>	<p>① 平成25年に策定した現計画で、当初は年間3,000万、10年間で3億を目途に策定しました。実績は、資料の1ページ、10年間で3億7,550万1,000円が実績、物価高騰もあり、事業費としては上がっています。</p> <p>② トイレですが、5ページで10年間の総額10億3,900万を示しています。この中には、トイレの更新費用も一部含んでいます。今考えています公園の方針は、地区公園以上の公園、具体的に総合公園でいうと恵庭公園、恵み野中央公園、地区公園でいうと中島公園、黄金ふるさと公園、ふるさと公園は既に終わっており、こういったところのトイレは、この計画の中で計画的に更新しようと考えており、それ以外のトイレは、公園のあり方等検討委員会で、この全部を存続していくのかどうかも含めて検討していますので、この計画の中の事業費には組み入れていません。</p>
<p>松 島 委 員</p>	<p>わかりました。更新費用は、かなり増額され、手厚く修繕がされると受け止めてよろしいでしょうか。公園はこれからいろいろな世代の方が使っていく中、大変重要だと思います。健康や、子どもが楽しんでいるのびのび遊んだり、避難所としても使う様々な役割の中で、トイレの洋式化も大変重要であると思いますので、しっかりと検討していただきたいと思います。</p> <p>③ 公園施設を修繕する中で、市民が使っていて破損した場合、地域からの声とか直接連絡はあると思いますが、今、LINEアプリで通報システムがあると思いますが、地域要望だと、町内会の方に言ってというと、それを忘れていたりすることもあると思いますが、気がついた方がすぐ通報できる、そういったものの導入は、公園はいろいろな方が使うので、怪我しても大変だと思いますので、迅速に通報できる、そういった取組みを今後されるのか伺います。</p>
<p>大林公園管理課長</p>	<p>③ 公園に関する通報の仕組みですが、今2点ほど考えており、1点が、各公園にQRコードを設置し、それを読み込むと、メールフォームが立ち上がり、そのまま通報が届く仕組みをつくれなにか検討しています。もう1点、LINEを使った通報システムも検討しており、こちらは何か壊れているとか、危険だという通報はもちろんですが、例えば綺麗な花が咲いている、そういった情報も寄せてもらい、市民に広く情報発信できるものについては、インスタグラムも使いながら、市民と共有していく仕組みを考えているところです。</p>
<p>松 島 委 員</p>	<p>わかりました。使用する方が直接声が届けられるような、そういったシステムをよろしくお願いします。</p>
<p>川 原 委 員</p>	<p>① 資料⑬-1、2ページ、市営住宅空き家数119戸、令和4年度末です。4ページ、市営住宅推定戸数867戸、令和14年の推測です。2ページに戻り、公的支援が必要な公営住宅、私が議員になったころは1,200ぐらいだったと思いますが、老朽化でどんどん減ってきて、現在空家数が119ですが、差し</p>

引きすると979室を現在使っています。令和14年には867戸を管理すると、要するに減ってきていると思いますが、公営住宅は、住宅に困窮している方に対して供給するというのが昔からの考え方だと思います。あと緊急避難的に、火災とか何かで支障が出る方が入居できる場所と、それは大切なことだと思います。今、恵庭市も、所得は上がってきており、本当に住宅に困っている方がどれだけいるか、そういうことで管理戸数も減ってきていると思います。高額所得者には出てもらう形で計画にも載せています。確認ですが、月額が15万8,000円の収入ですか、そこを正確に聞きたいと思いますが、私は15万8,000円以下であれば入居できるという基準、子どもがいて、母子家庭などの生活弱者の方の基準はあったと思います。そういう方が恵庭市内でも減ってきているのではないかと。経済部の施策によって雇用や働き方を広げ、所得を得るように恵庭がなってきていると。それで800台の戸数を管理していこうと考えているのか、その考え方と、実質公営住宅に入居する金額の基準、そして恵庭市の流れを伺います。

② 資料③、97ページ、平均改善額が対象で、ライフサイクルコストで修理していけば長持ちして、恵庭市の経費が940万削減になるという計画になっています。図面の除却費と修繕費の間に、改善費の枠があります。修繕と改善の違い、この絵に書いてある50年の評価期間改善費実施、それと実施した後ということですが、改善費の考え方を伺います。

栗野市営住宅課長

① 市営住宅に入居する上での月の収入額の基準ですが、15万8,000円以下の方が基本的に入居できるとなっています。

公的支援の必要戸数の考え方ですが、住生活基本計画で考え方を取りまとめています。住生活基本計画では、令和7年度から令和14年度にかけての推定人口設計から見る著しい困窮年収未満の世帯がどれぐらいか、そうした方々がどのようなところで住居を確保していく必要があるのかという考え方から、推計値を出しています。市内の公営住宅はどれぐらいの数が必要かを推計した中で、公営住宅としては、全体で令和7年度について、現在では道営住宅と市営住宅を合わせて995戸程度必要だろうといった推計値から令和14年度にかけて、道営住宅と合わせて924戸ということで、このうち市営住宅は870戸程度用意する必要があるということでこの管理戸数の取りまとめを行ったところです。

② またライフサイクルコストの考え方ですが、長寿命化計画を行う上で長期的に管理をしていくと定めた団地で、今後10年間、長寿命化改善工事を行う必要がある団地が桜町団地と寿団地が主になっています。この団地について、修繕をしないで管理する場合と改善を行った上で利用期間をさらに延ばした場合どれぐらいの縮減効果があるのかがこのライフサイクルコストの比較になっています。改善費は、長寿命化型の改善工事を行った場合の費用で、図の8-2の上は、改善事業を実施しない場合の計算式、考え方になっており、下については長寿命化型の改修工事を行った場合の考え方、計算式になっています。改善費とは、躯体を長寿命化する改修や、内部の改修作業など躯体を長持ちさせるためにかかる費用を改善費とっています。

川原委員	<p>③ ①現在、所得水準は、恵庭市では上がっており、住宅に困窮する方はだんだん減ってきて、幸せな恵庭での生活を営んでる方が多くなっていると思いますが、改めて公営住宅を常に整備していくという考え方、今回PFIで実施されましたが、一般民間住宅、街を見ていると、空室がずいぶんあると、最近特に目に付いています。その活用はこの計画の中で、民間借上げという表現はしていますが、私のイメージでは、今回のPFIのイメージしかなかったものですから、そうではなく、大規模にやる場所はもうほとんどないと思います。民間の場所で、既存の民間借上げで対応しながら、890という数字を確保していく。新設だけではない考え方を伺います。</p> <p>④ ②従来はこれだけの修繕費だったけれど、もう少し伸ばすため、改善費という名目で上乘せして、予算をつけて修繕を常にやっていこうと。今までは20戸、今回も24戸を50戸、予算を確保してやっていきたいというイメージで捉えていいのか伺います。</p> <p>⑤ 民間のマンション、アパートに入ったら、出るときに原状復帰があります。そうすると、住宅も長く使えて、次の方も入りやすくなったり、壊したら面倒見てもらうと。保証人も敷金も公営住宅はないので、入居のときのやり取り、それが長寿命化に繋がっていく一つの考え方ではないかと思いますが、それについての考えを伺います。</p>
栗野市営住宅課長	<p>③ 今回見直した長寿命化計画では、市が直接管理する戸数は約870戸で、その他に、民間のアパートを既存借上型市営住宅として借上げ、同じく民間のアパートをセーフティネット住宅として活用する中で、合わせて50戸を住居に困窮する方への住宅確保を行うとしています。その中で資料の2の下のほうに、市が所有する市営住宅、それと一番下の四角ですが、市が所有する市営住宅と新設借上型公営住宅、これは恵央のPFIを指しています。この二つ合わせて867戸と、さらに既存借上型市営住宅ということで、令和15年度に10戸を計画し、この20戸について、民間アパートを借上げて、市営住宅と同様に利用できないかということ計画の数値として掲載しています。</p> <p>④ ライフサイクルコストの中での修繕ですが、日常的な修繕や、緊急発生的に行った修繕もあります。さらには改善費で、外壁の塗装、屋根の塗装、屋上の防水、内部のバリアフリー化、その改善費を投入して、長く使うことでコスト縮減に繋がるといった中でコスト比較をして修繕すべき団地を、計画の中で位置づけています。</p> <p>⑤ 原状復旧ですが、国土交通省からハンドブックで出されて、民間アパートも同じですが、入居者の故意または過失により、壁に穴を開けた、室内のガラスを故意に割った、それが退去時に発見された場合、入居者に現在も負担してもらっていますし、入居時もそうした説明をしています。ただ、長年使用してできた壁紙のシミ、床の汚れなどについては、所有者側で新たに入居する際の修繕で直して、新たに入居してもらうという考え方で現在取り行っており、今後も引き続き行っていきたいと考えています。</p>
川原委員	<p>⑥ ③今年度、既存の民間借上公営住宅として、2室計画しています。977戸で修繕し、そこに入居してもらうように、今回24戸計画しているようですが、</p>

<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>既存の民間借上住宅を増やすという考え方は、現在持っている部屋を除却することにより民間にアプローチをかけて公営住宅を増やしていく、そうでなければ、ただ公営の建物がどんどん増えていくという理屈になる気がします。民間借上住宅に入るとき、公営住宅を除却して床面積を減らしながら、そちらにステップを踏んでいく、それが870戸に繋がると私はと思いますが、その考え方を伺います。</p> <p>⑥ 既存借上制度は、現在柏陽の移転、建替えに伴う移転、それと来年度以降予定している、寿第2、第3団地、若草団地の用途廃止に伴う、入居者の移転先の確保での活用を主に考えています。今回の計画の見直しの中でも触れていますが、そうした移転の他に、計画的に用途廃止を行っていき、現在新規募集を行う中、市営住宅全体の单身向けの間取りが少なくなってきた、一方で複数世帯向けの間取りがなかなか埋まらないといった状況もあり、いずれにしても单身住宅の要望が増えていく中で、空室がなくなっているという現状もあり、そうした部分での活用も考えなければならないと思っています。</p> <p style="text-align: center;"><u>11時20分 休憩</u></p> <p style="text-align: center;">11時30分 再開</p>
<p>柏野委員</p>	<p>① 資料⑫、街区公園の再整備計画策定時には、その地域の要望をワークショップを行って把握するという説明があったと思います。年間3,000万円程度、10施設でしたから、その意味では地域要望を聞くのは割とやりやすかったのかなと思います。今後年間1億円で40施設となって、毎年8公園となると、限られた期間の中でワークショップもやって、地域の利用者との合意形成が難しくなるのかなと思います。先ほどの松島委員の質疑の中では、若干今までは地域の合意形成の仕方が違うとは思いますが、その考えを伺います</p> <p>② これまでは社会資本整備総合交付金を活用して実施していたとされていて、比較的社会的資本整備総合交付金の充当率が低いということがあって思うように事業が進まない状況があったと思いますが、今回防災安全交付金の活用を想定していることで、どういう意図で財源が変わったのか伺います。</p> <p>③ 資料⑬、公営住宅の長寿命化で、⑬-1の第3章、2ページの辺り、公営住宅の特性で、これまでの状況が書かれています。この中にはいくつかのデータに関しては、元々令和4年度末のデータで載っていたと思いますが、今回⑬-3で配布された資料を見ると、いくつかのデータに関して令和5年度の数字に直しているものがあると思います。これから4月にパブコメで、5月に策定ということですから、できるだけ令和5年度末の数字に直した方がいいと思っており、特に20ページの数字、47ページの数字で、既にある程度締まっているものですから、これに関しては、令和5年度末の数字に修正すべきだと思いますが、その点について伺います。</p> <p>④ ⑬-1、4ページ、第7章、867戸という想定している管理戸数が示されており、この中では耐用年数を過ぎた3団地は用途廃止とのこと。この用途廃止により311戸がなくなる想定ですが、それでも867戸のうち、エレベ</p>

<p>大林公園緑地課長</p>	<p>ーターのない中層棟が約半数まだ残る計画となっています。現時点で考えても約3分の2の世帯が高齢世帯だということや、修繕が追いつかずに入居ができない状態が続いていることを考えたとき、築50年を超えることになる旭団地、寿第1団地、福住団地は、全てを個別改善や維持管理という形で維持していくという考え方でいいのか伺います。</p> <p>① 街区公園再整備計画に基づく街区公園の再整備は、計画書で、ワークショップ形式の意見交換実施を基本とすることが明記されており、これに基づいて住民との合意形成を図っています。具体的には、まずは策定した案について、一度ウェブアンケート調査を実施し、その後意見交換会を開催しています。この中でいろいろと意見が出ますので、それに対して案を修正しながら、最終的には再整備の計画を確定するという流れで進めています。一方で公園施設長寿命化計画に基づく改修事業ですが、公園を面的にリニューアルすることではなく、例えば滑り台を滑り台に更新するというような公園の施設に着目した事業になっています。ただ、公園の利用形態も変わってきていることも踏まえ、滑り台、砂場、ブランコですとか、いくつかを地元提案し、それに対するアンケート調査を実施しています。1番票の多いもの、2番目、3番目が出てきますので、その結果を町内会に確認を取り、どの施設にするかを決定する流れです。そのため、長寿命化計画の遊具等の更新には住民説明会を実施しておらず、あくまでもアンケート調査の中で意向を確認して進めている状況です。</p> <p>② 平成26年度からこの事業着手しており、途中から防災安全交付金の交付要件に合致したため、防災安全交付金を活用した事業展開となっています。どの時点で切り替わったという数字、今持ち合わせていないので、後ほど報告させてもらいますが、防災安全交付金に変わったことで、市の要望に対して、ほぼ100%の内示を受けることができるようになっており、今後10年間その状態が続くかは確定的ではありませんが、令和6年度も、防災安全交付金を活用した事業を予定しています。</p>
<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>③ データの取り扱いですが、見直し作業を行う上で、策定段階で見込めるものは、今年度末でデータを作成しています。ただ20ページ、47ページのデータ、その他まだあるかもしれませんが、パブリックコメントを4月に行うというタイミングもあり、データの差し替え、新たなものに対応できるかは、持ち帰って検討します。</p> <p>④ 長寿命化計画の見直しにあたり、長期的な管理の見通しを国のフローを使って検討することとあわせて、住生活基本計画で示されている約870戸との整合性を図る上で、どのように整理していくかを考えた中で、旭団地、寿、さらに福住は、最終的には、資料3番の82ページに記載していますが、6年度の見直しに当たり、令和35年度までの長期的な管理の見通しを考えて資料を作っています。この中では年度は示していませんが、耐用年数に合わせて用途廃止する団地で、旭、寿1号、2号棟、福住団地を耐用年数に合わせて用途廃止すべきではないかということと一旦整理しました。そうした中で、今後10年間の計画期間で若干の個別改善事業もあわせて計画をしています。具体的に言うと、旭団地の個別改善事業は、受水槽式の水を直圧式に切り替える改善事業です。</p>

<p>柏野委員</p>	<p>寿団地2号棟は、耐用年数の半分以上を経過していますが、耐用年数は15年近く残っている中で、外壁と屋根の状況が非常に悪いということもあり、改修を考えています。福住団地は個別改善事業を予定していませんで、寿3号棟は、まだ耐用年数があります。引続き活用しますが、令和6年度に位置づけされている18戸はエレベーターの若干の改修を行う予定で予算も要求しています。</p> <p>⑤ ①公園ですが、再整備と比べると基本は更新なので、意見聴取の仕方が若干違うのはわかりますが、やはり公園の利用形態が変わっているとか、例えば平成30年ぐらいに再整備したすみれ公園は、また最近になって大きなリニューアルがありました。そこでは確かに町内会に意向確認をして滑り台の更新などが行われたと思いますが、その後に利用形態が変わっていく、学童クラブの利用などの部分での利用者動向の聴取が不十分だったことで、結果的には二度手間になったと思っており、やはり利用する方の層が変わっている公園などは、単純な施設の更新だけではなく、遊具の転換も必要になると思いますので、もう少し踏み込んだアンケートよりも踏み込んだ形での利用者ニーズの把握をぜひしていただきたいと思いますが、その点について伺います。</p> <p>⑥ ②社公金が防災安全交付金に変わり、充当率が上がって事業がスムーズに進むのは非常にいいと思いますが、防災安全交付金の活用にあたり、整備計画策定とアウトカム指標の設定が必要になると承知しており、地域の防災性、安全性の向上を図るアウトカムはどういったものが設定されているのか伺います。</p> <p>⑦ 概要版2ページ、健全度の判定でC、D評価が804施設あり、基本的にその遊戯施設を中心にやっていくということだと思いますが、遊戯施設だけを見ても、304ということで、今回やろうとしている379の中で、かなりのウェートを占めると思います。同時にこれ10年間の計画ですから、さらに今ある施設も老朽化が進んでいくことを考えると、このペースで進めていっても、非常に厳しい計画になると思いますが、その点についての考えを伺います。</p> <p>⑧ ④867戸との整合性を図る上で、中層棟は基本的に維持していくという考えですが、既存民賃の活用が進めば、867戸の中でさらに用途廃止を進めることができると思っており、今の計画では、既存民賃が20とセーフティネットが30で、公的支援が50戸です。だからなかなか進まない、1年目に2戸、2年目5戸、3年目に10戸では、なかなか増えていかないので、実際のニーズとの乖離や、修繕が進まない状況を考えると、既存民賃とセーフティネットを早急に進めることにより、14年までの今回の長寿命計画の中でも、中層棟の用途廃止の見込みの時期を明らかにすることができると思いますが、その点について伺います。</p>
<p>大林公園緑地課長</p>	<p>⑤ すみれ公園は、滑り台の更新を実施して5年くらい経った後、再整備を実施することになり、確かに直近5年2回の工事を実施する形になっています。一方で、長寿命化事業は、安全安心な公園環境を確保するところに重きを置いており、危険な遊具等を計画的に更新する、その費用も平準化を図ることを目標に立てています。確かに公園の利用形態が変わってきたことは十分理解しており、更新にあたり、例えば滑り台を更新するとき、社会資本整備総合交付金上は同額の公園施設であればいいとなっており、例えば滑り台と金額が合うよう</p>

	<p>なベンチに切り替える、砂場に切り替えるとかも可能な交付金ですので、それも含めて地元の意見を聞きながら更新を進めたいと思いますが、現状ではなかなか遊具一つの更新に当たって説明会を開いて、ワークショップを開いてというのは難しいと考えています。</p> <p>⑥ 社会資本整備交付金ですが、整備計画は北海道が策定しており、この整備計画の中に恵庭市もその団体の一つとして入る形で、整備計画に基づく事業を進めています。手元に整備計画書がないため、後ほど、アウトカム等について報告させていただきます。</p> <p>⑦ 確かにC、D判定が非常に多く、資料の8ページ、令和6年度から10年間この事業を計画して進めても、10年後に最終的にC判定が12.7%残ります。C判定とは、直ちに危険ではないが、何かしらの補修修繕をしないと、今後危険性が高まるというもので、12.7%に対しては、例えば指定管理の中で計画的な修繕実施しており、その修繕を当てて、部材の補修を実施するとか、あるいは市でも、一定程度の修繕費を予算化しており、それで修繕補修を実施して対応しようと思っており、10年後にはA判定、B判定のものが全てになることを目指して取組んでいきたいと考えています。</p>
栗野市営住宅課長	<p>⑧ 計画の見直しにあたり、令和35年度までの長期的な管理の見通しを一旦整理しました。その中で、エレベーターのない旭団地、寿、福住等については、35年度までの見通しでは、令和26年度から35年の見通しの中で、用途廃止すべきということで、一旦今回の見直しは整理をしました。令和15年度までの管理戸数の考え方は、住生活基本計画との整合性を図り、公営住宅、市営住宅は870戸といった中で、今回は寿第2、3、若草の用途廃止を、前回の計画では若草は時期は入っていませんでしたが、改めて令和10年度の用途廃止を計画するという見直しを行いました。また、既存借上げ型市営住宅と、セーフティネット住宅の今後の活用は、令和15年度、住生活基本計画では令和10年度となっていますが、この中で50戸必要ということで位置づけしており、こういった計画と整合性を図るべくセーフティネット住宅制度と、既存借上げ型住宅制度をうまく計画に沿った形で活用できるよう、今後事業を展開していきたいと考えています。</p>
柏野委員	<p>⑨ ⑧ 予防的改善により940万円コストメリットという説明ですが、それが耐用年数が70年ある建物、残り10年という状況で修繕をしながらやっていくことが、全体としてだけでも年間940万円を超すメリットが出るとは、にわかには信じがたいところがあります。それであれば、既存民賃を活用する方が経済的に有利に働くと思いますが、それも含めた数字の比較、もう少し詳細にやってもらう必要があると思いますが、考えを伺います。</p>
栗野市営住宅課長	<p>⑨ 計画を見直しするにあたり算出したライフサイクルコスト、97ページで、桜町、寿第1団地は改善を行って、年平均で棟全体で970万円程度コストの縮減効果があるとなっています。対象団地の桜町と寿団地は、引続き計画期間内も活用しますし、先の見通し期間10年後も入居いただくという活用と位置づけしています。そうした中でライフサイクルコストが効果があるということですので、既存借上げ型市営住宅をさらに活用し、既存の市営住宅を用途廃止す</p>

	<p>べきということでのコスト比較は、正直今回の計画の見直しでは行っておらず、今後計画等の見直しの段階で、今後の社会情勢を踏まえ、検討すべき課題の一つと捉えてこうと考えています。</p> <p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p> <p>【質疑】</p> <p>① 市営住宅について、15万8,000円という基準がありました。所得金額ではなく、世帯の収入合算金額か確認します。</p> <p>② 旭団地への文教大学生の受入れとの委員会報告があったとき、農業研修生の外国人も、例えば寿団地に入ることはできないかという疑問をしました。検討するとのことでした。もし検討していれば、どういう検討をしたか、してないのであれば、まだしてないとはっきり言っていただきたいと思います。例えば、ベトナムから来る農業研修生が、住居がないので農家の家に住む、あるいは農家がどこかの家を借りてそこに住むといったことが起きています。だとすれば、空いている部屋があり、修繕ではなく少し改修する程度で入れるところに、これは条例では入居の条件にそぐわないけれども、家族ではない多数の人が入って暮らすことができます。条件として団地前の通路の除雪をする、あるいは夏に草刈りをするとか、管理について条件をつけることが可能ではと思いますが、そのことについて伺います。</p>
<p>川 股 委 員</p> <p>栗野市営住宅課長</p>	<p>① あくまでも世帯収入で15万8,000円です。</p> <p>② 現在、4月からの学生入居に向けて作業を集中しており、学生入居以外の目的外使用の検討には至っていません。ですが、今回、長寿命化計画の見直しで、市営住宅の利活用で、外国人とは具体的に明記していませんが、学生も含めて、目的外の制度の活用も今後検討しなければならないと、はっきりと計画の中で外国人を意識して位置づけましたので、引続き検討したいと思います。親族以外との入居は、本来入居の場合は認められませんが、目的外だと扱いは少し異なります。実際、学生入居を今最終検討している中で、学生同士、同じ学年の仲間や友人同士での入居を認めることで今考えており、目的外で入居する場合と本来入居とは入居要件は異なってくるということです。</p>
<p>川 股 委 員</p>	<p>③ ②消去法でいくと、入れない理由がだんだんなくなってきましたので、外国人もやがて入れる日が来るのかと思います。農業研修生でなくても、例えばロバパンに勤めるとか、普通に雇用のできる、5年間住める方でも、必ずどこか住居を探さなければいけない。アパートに入ったりしますが、それも埋まってきています。先日も16人ベトナムから来ました。その後また十数人来ています。778人ぐらいの外国人の人口だったはずですが、今800人超えてると思います。そういった方が、貴重な恵庭の市民、住居登録しますし、市税も払ってくれますので、そういった部分も今後検討していく必要があるかもしれません。住居はきちんと直すということではなく、入れるように改修するだけで入っ</p>

<p>栗野市営住宅課長</p>	<p>てもらえると思います。それから目的外使用、公募の例外もあって、特に市長が認めたものとありますので、その検討、整理をしてもらい、次回質疑したいと思います。答弁あればお願いします。</p> <p>③ 外国人技能実習生、農業実習生、様々外国から恵庭に来ている現状は承知しています。公営住宅をどのように活用できるのかは、公営住宅の基本的な考え方として、住宅の確保に困窮している方にどのように入居できるか、目的外利用にあたり、市内の民業の圧迫にならないようにしなければならないことも考えなければならず、それを踏まえて国の許可ももらわなければ、目的以外の用途で使うことは難しいという条件的なものもあり、引き続き分析しながら、課題とさせていただきます。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程 2. 建設部経済部関連終了</p> <p>(執行部入替え)</p> <p><u>12時05分 休憩</u></p> <p>13時00分 再開</p>
<p>市川農政課長</p> <p>〃</p> <p>上山商工労働課長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>廣瀬花と緑・観光課長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>●日程 3. 経済部部関連</p> <p>1) 報告事項</p> <p>資料説明 ①アライグマ一時保管施設の運用開始について</p> <p>資料説明 ②木育ファーストtoy事業のアンケート結果について</p> <p>資料説明 ③北海道における次世代半導体プロジェクトに対する恵庭市の取組について</p> <p>資料説明 ④第3期恵庭市人材確保計画の策定について</p> <p>資料説明 ⑤新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に伴う経済対策について</p> <p>資料説明 ⑥いざりえ恵庭ビル外壁等修繕事業について</p> <p>資料説明 ⑦藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークについて</p> <p>資料説明 ⑧ルルマップ自然公園ふれんどパークゴルフ場に係るサウンディング型市場調査の結果について</p> <p>資料説明 ⑨盤尻地区観光まちづくり事業化構想について</p> <p>資料説明 ⑩市内周遊プラン作成事業について</p> <p>【質疑】</p>
<p>吉永委員</p>	<p>① 資料②木育ファーストについて、アンケートの対象は38人ですが、全体の対象乳幼児数と対応したファーストtoyの数を伺います。</p> <p>② 資料④人材確保計画の6ページ、調査対象の会社、令和4年度には181社あったが令和5年度の調査は99社になってます。減った原因を伺います。</p> <p>③ 資料⑤物価高騰対策のオリジナル商品券、市民の声で早く欲しいというもの</p>

市川農政課長	<p>があり、過去にも商品券配布事業をしていますが、前回と今回のスピードの比較、前回の一番早かった日、一番遅かった日、前回と今回の比較を伺います。</p> <p>④ 資料⑥いざりえの修繕で、瑕疵期間、建物5年ですが、この間に今回の不具合が発見されなかったのか、それと想定される不具合発生原因を伺います。</p> <p>⑤ 資料⑦農商工連携広域ネットワーク、終了する理由が、消費者の選択肢の増大、消費者の選択肢が多かったのが理由。競争の激化と、市場の変化、人件費の高騰ということで、内部的な理由が全くないので、これについて伺います。</p>
上山商工労働課長	<p>① 対象者は、8月の配布から今回2月の配布まで199セット配布しており、今回の2月の対象、38名には全て配布しています。</p> <p>② 人材確保計画のアンケートは、毎年何らかの形で行っていますが、そもそも令和4年度と令和5年度で配った企業数が違い、分母が違うので、回答率がそんなに変わらなくても分子は減ります。令和5年度のアンケート調査は、人材確保計画のために320社に送っていますが、令和4年度は、労働状況調査ということで、分母も広く送っていることから、回答率が変わらなくても、回答企業数は減るといふ、調査対象の範囲の違いです。</p> <p>③ 始めた時期が今年のほうが早かったためであり、実際に配る作業の時間は変わっておらず、ただ使用期限は3月31日に変えていませんので、市民にとっては使う期間が長かったということがあったかと思えます。</p> <p>④ 資料⑥、外壁の不具合ですが、専門的な部分はお答えしづらいですが、基本的には経年劣化と理解しており、写真にもありますが、こういったところに雨が入って剥がれていったのではないかと認識しています。</p> <p>⑤ 資料⑦、これが全てであれば、次をやっても同じ外的要因で駄目になったという、内部的というのは特に資料に書いたのが主な理由になるので、お答えしづらいところです。</p>
吉永委員	<p>年末の木育ファーストトイ、199件で、出生から見ると、月20人から30人、ほとんどの方にお渡しできていることが確認できました。</p> <p>人材確保について、調査数が減っているのも、何か変化があったのかと思ったのですが、元々の配布が違ったということでわかりました。ただ固定的に配布した方が、もしくはランダムにやりますとか、何かコンセプトがあれば別なのですが、そこはよろしく願います。</p> <p>オリジナル商品券について、戸別配布する形ですので、近隣市と市民は必ず比べます。千歳市が早かったとか、恵庭のほうが遅かったとか、いろいろありますので、次回あるかどうかわかりませんが、速度という面を重要視したほうがいいかなと、だんだんと要求が高くなっていくという面はありますので、よろしく願います。</p> <p>⑥ ③商品券について、今月末で終了というPR、残り少ないですが、100%使ってもらうための方策等あるのか伺います。</p> <p>⑦ ④いざりえについて、どちらかという建設部の話ですが、築9年でこうなると、今後の市の建物も、同じことが言えるのか反省しなければいけないということから、特に5年の瑕疵期間、重大な過失なのかも含めて、しっかりこの期間を有効に使って直してもらいたいということで、今後どのようにやってい</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>くのか伺います。</p> <p>⑧ ⑤補助金として梱包費でマックス50万円、それ以外で25万円という補助金を準備して、売り上げが20万から30万円で、今回閉鎖の理由が、外的要因だけということは、もう次回以降もできない、という話になります。しっかり内部的な反省、これ仕方がない、でも次はどうするという観点、そこについて伺います。</p>
<p>吉永委員</p>	<p>⑥ 3月末までの使用勧奨ですが、町内会の回覧板にチラシを入れた他、今後F Me-niwaの放送、広報えにわ3月号にも既に載せていますが、こういった形で、市民周知、最後3月31日まで可能な限り使ってもらえるように取組を進めたいと考えています。</p> <p>⑦ 建築課にもアドバイスをもらいながら進めてきましたので、今後具体化していく段階で、同じように進めていきたいと考えています。</p> <p>⑧ 藤枝市でも議論を進めていただいておりますので、その点含め、相手あることですので、その辺含めて協議を進めていきたいと考えています。</p>
<p>上山商工労働課長</p>	<p>資料⑤わかりました。できるだけ早く、特に市民は千歳、北広島、札幌の人ももらったという話、必ず聞こえてきます。できるだけこれに沿えるよう、恵庭が一番で来たよと言えるように、少しでも改善していくことをお願いします。</p> <p>⑨ ⑧相手があるとのことですが、藤枝市はどのように納得というか、今後藤枝市との関係は切れないわけで、今後どうするのか、将来的なことを伺います。</p>
<p>早坂委員</p>	<p>⑨ 広域の農商工の連携ネットワークという形で、友好関係を持っていることもあり、その合意については大切に続けていきたいと考えています。</p> <p>① 資料⑨、盤尻地区観光まちづくり事業化構想のパブリックコメント、2番目の集客、収益の確保の、えにわ湖利用拡大とありますが、ボートとかカヌーを使えるようにしたり、支笏湖で立って水の上を進んでいくものとか、アクティビティ観光が今目玉になっており、そういう話が出なかったのか伺います。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>② ダムのところできれいな桜、あるいは紅葉が見えますが、そこでサッポロビールやジンギスカンができれば最高だろうと思いますが、キッチンカーを出して料理を売るとか、そういう話は出なかったのか伺います。</p> <p>① 漁川ダム、国と協議をしています。その中でカヌー、サップなど、湖面の利用が可能か協議していますが、原動機付のものは断っているとのこと。それであれば、カヌー等可能であると思いますが、湖面に降りる管理用通路の整備が、管理上通行止めをしているということがあり、そういう障壁があるため、今後どのようなことができるか、漁川ダムと協議していきたいと考えています。</p> <p>② 春先の花見のときに公園利用、ジンギスカンや肉を焼いている方がいます。そのように自由な利用はしてもらっていますが、キッチンカーを呼んでも、利用者が少ないということもあり、来てもらえない状況です。</p>
<p>早坂委員</p> <p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>③ ①ダムの上流のほうからであれば、進入路があったような気がします。</p> <p>④ ②場所代が高いから来ないとのことですが、場所代はいくらか伺います。</p> <p>③ 漁川ダムの上流に入口があるとのことですが、ダムの管理者としては、湖面でそのような許可を取ってもらえれば、カヌーですとか、協議をすることに対</p>

<p>早坂委員</p> <p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>して禁止するというのではないと聞いています。ですので進入路などの問題の解決が必要だと考えています。</p> <p>④ 公園の使用料は、レクリエーション施設の条例に基づいて行っており、バーベキューは無償でやってもらっています。もう一点、キッチンカーの使用料は、調べて報告させていただきます。</p> <p>⑤ ③カヌーとかボートとなると、業者が来るかどうか問題点になると思いますが、その一点伺います。</p> <p>⑤ アウトドアメーカーがこの話に乗ってもらえるかですが、場所的にも支笏湖と状況は違い、侵入路等が通行止めや崖になっていたり、湖面に接する場所が急斜面であり、水面が下がったり上がったりするときに、湖面に降りる場所がかなり限られることもあり、なかなかアウトドアメーカーが話に乗ってもらえる状況ではないと感じています。</p>
<p>川原委員</p>	<p>① 資料③次世代半導体プロジェクトですが、調査をして各企業が必要とする用地の総面積は概ね40ヘクタールとあります。現在は市街地の拡大の調査していますが、未操業用地の売却意向ありというのは6ヘクタール、売却されとなれば6ヘクタールで、必然的に40ヘクタール求められているのであれば、34ヘクタール不足しますが、この売却意向のある6ヘクタールをどう考えているか伺います。</p> <p>② 資料④人材確保計画の11ページ、人材確保計画ではいろいろなデータに基づいて計画をしていますが、恵庭市内の中小零細企業は、これからラピダスができることにより人材確保を非常に心配していると、前のアンケートにもありました。そのことについて対応しようと、この計画をつくっているところですが、中小零細ではなかなか応募者とのマッチングが、ハローワークだけではアプローチしづらいですから、このマッチングの機会を、令和5年度に実施されたことは非常に評価が高いと、経営者の熱意が、高卒者なり就職を求めている人と面と向かってお話できる場面が設置されていると。これについては市が関わられたと思いますが、市の考え方と成果を伺います。</p> <p>③ 資料⑤経済対策について、現在2億1,000万の予算が支出されているとのことですが、地域経済の地方創生の交付金、コロナ対策を使っていると思いますが、概ねで結構ですが、国からの補助金と、単費がどれぐらい使われているのか伺います。</p> <p>④ 資料⑧ルルマップふれらんどで、隣接する墓園敷地の利活用の可能性について、という記載があります。これは生環部と調整しているのか伺います。</p> <p>⑤ 今回、当初予算で240万のふれらんどの測量設計、調査委託分を見ています。これについて第4墓園も含まれているのか伺います。</p> <p>⑥ 資料⑨盤尻地区魅力向上事業で、1,120万予算を見ていますが、この中に112万、その中に労務費の手数料が62万1,000円が入っています。委託料が47万7,000円で、なぜこの手数料の金額が出るのか伺います。</p> <p>⑦ 観光まちづくり事業は大変重要ですが、恵庭のいろいろな環境を観てもらい、恵庭の地位を高めるのは大切ですが、最終的には恵庭の経済活動に寄与してほ</p>

<p>上山商工労働課長</p>	<p>しいと思います。盤尻の観光をどう位置づけ、恵庭の産業の育成、地域経済の活性化に寄与させていくように、この中に盛り込んでいるのか伺います。</p> <p>⑧ 資料⑩、市内周遊のプランですが、このポスター等が恵庭に溢れて、恵庭に行ったらこんなところがあるよという写真で表示することは大変有効だと思います。そこで、紙ベースではなく、固定的なもので、恵庭に来たら目につくようなPRも必要と思います。このコースが街を歩いたときに一見してわかる、そういう施策も必要と思いますが、チラシを配るだけではなく、どのように有効性を高めて恵庭を周遊してもらい、経済活動に参画してもらうか、そこをどう考えているのか伺います。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>① 土地の形、面積がなかなかあてはまらず、売却に至らないケースもありますが、引き続きマッチングに努めたいと考えています。</p> <p>② 企業と求職者のマッチング機会の増加や、人材確保計画に基づく取組を実施していきませんが、本年度実施した就職促進事業委託は、年度末に実績報告が提出されるため、今後令和6年度にかけて分析し、6年度の事業実施に向け検討したいと考えています。</p> <p>③ 6,401万1,000円が国の交付金になりますので、総事業費で単費は、1億4,781万1,000円で見込んでいたところです。</p>
<p>川原委員</p>	<p>④ 墓園の利活用は、生活環境部と調整し、第4墓園の跡地利用の計画がなくなったと聞いたので、民間事業者の意見を聞きたいということで入れています。</p> <p>⑤ 子どもの遊び場や、現在サッカー場にトイレが不足しているので、その部分的な測量設計を行う予定です。また簡単な用地測量も見込み、240万を見込んでいます。</p> <p>⑥ 紅葉の時期は、はなふるやJR駅、えこりん村、さらには白扇の滝などをシャトルバスで運行する計画をしており、その手数料として62万円を計上しています。</p> <p>⑦ 観光振興計画にある溪谷の観光もあり、重要な位置づけと考えています。盤尻観光は観光振興計画にある、盤尻に行ってもらい、さらにはなふるやふれらんども重要な施設と捉えており、市内周遊をしてほしいと思っています。</p> <p>⑧ やはりSNSは若い方が見るということもあり、SNSを活用した広告宣伝を行いたいと考えています。具体的には、インスタグラムを利用した広告を行い、インスタを見たら、周遊プランの広告が出るような仕組みで、多くの方に電子的に見てもらう形で進めており、そのように広めたいと考えています。</p> <p>⑨ ①了解をもらえるのであれば、意向のあるところにアピールをする、値段はお互いに交渉してもらえれば結構ですが、現在こんな土地がありますという図面を送付して、アプローチをかけ、その間の労をとるのも一つの方法かと、やはり意向があるのであれば、進めてほしいと思います。今、市街化区域の開発に努力していますが、明日、明後日の話ではありませんし、そのように動いてほしいと思いますが、考えを伺います。</p> <p>⑩ ②報告が出てないのであれば、上山課長の私見でも結構です。方向が出てから報告するのでは遅くありませんか。地元の経済では、人材の確保に苦勞しています。だからマッチングを令和6年度にもう1回やりたい、今度はこうした</p>

いとか、それを聞きたいんですよ。そうしたら議会も後押しになり、予算も確保できるのではないですか。令和5年の実績について、印象で結構ですから、お聞かせください。

⑪ ③ 1億4,000万を単費で出しました。大企業が2,800万、地元の中小零細が8,800万で、昔の3割7割という形で地元企業に経済の影響を及ぼしていると思っていて、着実に地元企業、中小零細に使われているのは実感しています。毎回、1億4,000万円を単費で出すのは、市としてつらいのは十分理解をしていますが、その中でこれをやっていく方策、地元の中小零細が活性化していく、中小企業振興条例に基づく追い風に繋がっていくという図だと思います。購入型では上乘せのプレミアム分だけが市の単費となり、抑えていたと思います。そうすると単費で1億4,000万という数字にならないと思いますが、購入型も、これに基づいたらいかがか、考えを伺います。

⑫ ④ 第4墓園は、生環部も考えに入るのであれば、全体的に大きなスパンでサウンディングに入れるのではないかと思います。サウンディングの中に、隣接する墓園敷地の利活用の可能性も入っていますよね。市として何も考えなしに墓園を入れようという意識になったのは、どういう基礎ベースがあって、これを考えたのか、どうやって使えばいいのか、もっと魅力アップできるのではないかという考え方を計画のサウンディングの材料に入れたことについて伺います。

⑬ ⑧ 市内周遊プラン、SNSは当然ペーパーでもアナログでもやっています。まち並みの中に周遊プランのわかる看板は非常に重要だと思います。恵み野だったら花さんぽストリート、おしゃれに看板立てています。全戸に立てるのではなく、基本ははなふるです。はなふるを中心として人に動いてもらう、はなふるに戻ってそこで解散する、はなふる中心に、ベースに入れてやってほしいと思います。入口に目立つモニュメントがあれば市民もわかるわけです。そのモニュメントの考え方を伺います。

嘉屋経済部次長

⑭ 商品券事業について、この間、議会議論等々でも広く市民に利用してもらうということで配布型、さらに郵便局等々で引き換えをしない、自宅でもらえることで利便性を上げて事業をやっており、また元の形に戻すということになると、いろいろ議論をしなければと思うので、今回そのような意見があったということで受け止めさせていただきたいと思います。

上山商工労働課長

⑯ 売却意向があり、市に問い合わせが来たら繋いでもいいという企業、広く周知しないでという条件をつけたり、市の工業団地のホームページにも載せないでほしいとか、いろいろ企業の要望があり、個別に対応している部分があり、大々的にやりたい気持ちは強いと思いますが、実際土地を持っている企業の要望に応じた対応をしているということで理解いただきたいと思います。

⑰ 人材確保について私見ということですが、企業説明会、大きいものから小さいものまでいろいろやっていますが、企業に案内すると、出たい、人が欲しいと言ってもらい、実際に応募したところやはり物理的にお断りしなければいけないような状態で、抽選やそういった形が出ている企業、今年度も見えていましたので、物理的に越えなければいけない壁はありますが、マッチング

<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>のニーズは、仕事を探している方も、募集してる企業も、それぞれかなり高いということは、今年1年感じた部分であり、具体的にできるできないというの はありますが、今年度の事業、全く同じではなく、見直して、よりマッチングの 機会を市内の企業に創出できるよう、次年度に向けて考たいということで、担 当には指示を出して、私も考えているところです。</p> <p>⑫ 第4墓園はふれらんどに隣接しており、面積は測っていませんが、3から4 ヘクタールの遊休地があります。さらに隣接していることもあり、ふれらんど を使ってもらうことにより、新たなアクティビティが来てもらえればもっと賑 やかになると考えていますが、民間事業者がどのように考えているかが必要に なりますので、話を聞きたいと思っています。</p> <p>⑬ プロモーションをもっとした方がいいのは十分認識しています。はなふるを 中心とした、入口の広告宣伝についても十分承知をしており、例えば道の駅の デジタルサイネージでのプロモーションムービーも予定しています。大々的に ポスターやパンフレット等も貼っていきたいと思っており、広く周知したいと 考えています。モニュメントですが、手段手法は変わるかもしれませんが、ど のようなことができるかは持ち帰って考えたいと思います。</p>
<p>川原委員</p>	<p>⑭ ⑨半導体の関係で、工業団地が40ヘクタール求められていることがわかっ たわけですから、ハリーアップで行くしかありません。理事者はどうなんです か。ここまで煮詰まってきたときにどう考えるか伺います。</p> <p>人材確保ですが、今評価されていたようですので、やり方を考えて、物理的 に無理だというのは当たり前の話ですので、これから恵庭に住みたいという人 も仕事を探している人も恵庭市の人ではなくてもあると思います。こういう機 会、経営者とマッチングできるという、これは大事な手法だと思いますので、 令和6年も鋭意取り組んでいただくようお願いいたします。お願いして終わります。</p> <p>⑮ ⑪経済対策ですが、今次長から元の形に戻すとありました。いろいろな手法 でやりましたが、元の形に戻すのは、購入型は不評だったから給付型にしたと いうことですか。私はその認識はありません。購入型で、皆さん先を争って、余 った分を再度販売したとき、行ってもすぐ買えなかったと、これ評価すごく高 かったのではないですか。購入型は購入数を限定し、1人2冊で、余った分は 再度販売し、そのとき5冊申し込んだけども、私も買えませんでした。これを 元に戻すのは、悪かったから戻したのではなく、給付型が喜ばれるということ だったと思いますが、決して悪くなかったと思います。いつも給付型でできれ ばいいのですが、恵庭市の財源も限りがあり、購入型で評価が高ければ購入型 でいいのではと思います。その辺の考え方を伺います。</p> <p>墓園用地、3から4ヘクタールぐらい、ルルマップの全体像としては、業者 としては使い勝手がいいかと思います。サウンディングの考え方で、生還部と も調整ができているのであれば、サウンディングの答えを楽しみにしたいと思 います。この件は、よろしく申し上げます。</p> <p>盤尻地区ですが、シャトルバスは理解しましたので、これも含めて観光のベ ースは、起点ははなふるという認識をぜひ持ってほしいと思います。</p> <p>⑯ ⑬市内周遊プランですが、計画は、恵庭のこれからの観光施策には非常に重</p>

	<p>要だと認識しており、モニュメント等いろいろな施策をやってもらえるようですが、モニュメントは予算もかかり、どこに建てるかの問題もあります。ですが、目に見えるというのは非常に有益だと思います。ペーパーは置いておけば、しょっちゅう見るものではないし、街を歩いてたら、そういうモニュメントを見ただけで、植え付けられるというか、来てくれたお客さんに対しても市民に対しても有効だと思います。これは絶対手抜きなくやってほしいと思いますので、このモニュメントの考え方を伺います。</p>
<p>嘉屋経済部次長</p>	<p>⑮ 私の言葉も少し足りなかったと思いますが、元に戻すという表現も確かに悪かったかもしれません。市としても購入型はある程度成果のあった、いい事業だと認識しています。ただ今後、商品券事業を継続する、取組まなければいけないとなったときの一つの考え方として、受け止めさせていただきます。</p>
<p>廣瀬花と緑・観光課長</p>	<p>⑯ 市内周遊プランのPRの手法ですが、基本的にポスターやチラシを作成しており、道と川の駅の他にJR、観光施設、宿泊施設、多くの施設に配架したいと思います。あわせてプロモーションムービーを作成しており、ユーチューブを流して、動画を見てほしいということ、また道と川の駅のデジタルサイネージでプロモーションムービーの放映を予定しています。さらにSNS広告ということで、Instagramを利用した方が広告を見るような仕掛けをしたいと考えています。かなり強化をしたいと思っており、モニュメントの設置が有効ということで、どのようなものか現段階ではイメージができていませんが、手段手法も含め、有効な広告宣伝がどのようにできるか検討したいと考えています。</p>
<p>江川経済部長</p>	<p>⑭ 半導体の関係ですが、今回企業立地動向調査の結果が出て、面積がどれぐらい必要か、立地までに何年必要という結果が出ていますが、今回企業立地動向調査の結果と、市街地拡大の、事業のサウンディング調査の結果も出ますので、今回の結果を踏まえ、半導体の関連企業も数多く進出してくるということも考えられるので、そういった影響も考えながらスピード感を持って取組を進めていきたいと考えています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>① 資料③、半導体に関して、4,000件に送付をして回答が70社、非常に少ないと思いますが、当初期待をした成果があったと評価しているのか伺います。</p> <p>② 製造業は、立地可能性があるこの14社にこそ、ヒアリングなり、深掘りした調査をすべきと思いますが、千歳、苫小牧、他市でも同様の企業立地に向けた調査をしている中で、恵庭がそういったところと比較して優位にあるのかどうか評価する必要があると思いますが、その必要性について伺います。</p> <p>③ 半導体のヒアリングを行った8社は、進出可能性は当然あると思いますが、70件の中に入っているのか伺います。</p> <p>④ 資料④8ページの高齢者、障がい者、外国人を雇用している企業の割合が示されています。第2期の人材確保計画と比較して、高齢者の割合、外国人の割合は上がっていますが、最後の方で評価をしているように、障がい者に関しては下がっています。そうした中で、具体的な取組の記載がないことが残念と思いますが、意見を聞きながら決めていくということは書いてあり、具体的にどういったこと考えているのか伺います。</p>

- ⑤ 13ページ、人材育成の推進で、どちらかという若い人に向けた人材育成が書いています。3番目の多様な働き手の確保では、氷河期採用とありますが、この間内閣府でも言っている氷河期の部分でのスキルというところが不十分だと評価をしているのであれば、人材育成のところにも氷河期世代に対する職業訓練とかの要素を入れる必要があると思いますが、考えを伺います。
- ⑥ 14ページ、女性の就労環境の整備の項目があります。先日の総務文教常任委員会で報告のあったデジタル化推進計画の中で、女性デジタル人材の育成というところがあり、総務部と商工労働課との連携で事業を進めていくことになっていたと思いますが、この人材確保計画の中では女性デジタル人材の育成はどのように進めていこうとしているのか、その関連性を伺います。
- ⑦ 全体的には人手不足という感覚をお持ちだと思いますが、近年のハローワークの地域ごとの有効求人倍率の推移を見ると、全道、全国と比較しても決して高くないと思います。有効求人倍率をどのように評価しているのか伺います。
- ⑧ 資料⑥いざりえについて、区分所有権ということでその区分に応じた負担割合で、今後負担していくということです。市以外にも、区分所有権を持つてる方がいると思いますが、その負担割合を伺います。
- ⑨ 資料⑦ふるさと納税が増えてきて、選択肢が増えて競争環境が厳しいのは理解できます。ただ通販サイトの運営以外にも、連携商品の販売や商品開発の補助金という形でいろいろしている中で、(3)商品開発、2分の1の補助ということで、50万、25万と補助していますが、近年でも構いませんので、どういった商品を開発をしてくれているのか、商品の販売実績を伺います。
- ⑩ 資料⑨盤尻地区の観光まちづくりの推進で、そこでの観光が地域にしっかりと波及することを検証してほしいとお願いしてきました。経済波及効果を高めていこうとするのであれば、当然民間の事業者との連携が重要になると思います。民間事業者、沿線の事業者にもヒアリングを行ってきたとのことですが、一方で飲食店の閉店、地域の運動施設の閉鎖など、市が想定していなかった民間の動きがある中で、より民間との連携を深めていく必要があると思います。一方で地域の大規模な観光事業者に大きな動きがあるという噂もある中で、民間事業者との意見交換や連携がどのように進められているのか伺います。
- ① 半導体に関して、4,000件のうち70件ということですが、こちらは可能性がある、可能性がかなり高いところが回答をくれたと認識しており、17社から可能性があるという回答をいただいており、もちろん回答件数ということはあるかもしれませんが、可能性のある企業数を把握したいというのが一番の目的でしたので、可能性があるという回答が得られたことで成果があったと考えています。
- ② どういった企業から回答があったという報告があり、今後、その情報を活用し、ヒアリングや直接訪問したPRに取り組んでいきたいと考えています。
- ③ 半導体のヒアリング調査ですが、70件の回答があった企業のうち8件というご理解をいただければと思います。
- ④ 8ページの障がい者の具体的な取組ですが、計画としては、広く包含するという部分であり、計画書としてはこのようになっていますが、今後、外部委員

上山商工労働課長

<p>廣瀬花と緑・観光課長</p> <p>柏野委員</p>	<p>会や庁内委員会等で議論を重ねて事業は実施することになり、その中で、具体的な取組と、今回このような計画の立て付けということで考えており、そういった趣旨を踏まえて議論を進めていきたいと考えています。</p> <p>⑤ 先ほど委員の言われた内容は、ハローワークで取組んでいる部分であり、可能性ということ言えば、(2)に含まれるかもしれませんが、就職氷河期の取組はハローワークで実施している取組の周知という部分をやっていきたいということで、こちらに記載しています。</p> <p>⑥ 総務部と協議し、掲載する方向で進めたいと考えています。</p> <p>⑦ ハローワークでは、物価高騰などのマイナス要因と観光事業、労働事業というプラス要因が複雑に絡み合う状況にあると分析していると聞いています。ハローワークと定期的に意見交換をしていますが、私どもその説明を伺って、同様の認識を持っているところです。</p> <p>⑧ 区分所有の負担割合で、空中歩廊を除いて、民間で72.3%、市で27.7%持っています。市の大まかな内訳ですが、こども園、保育園で12.7%、駐輪場が13.5%、恵庭市が1.4%、切り捨ての関係があるので、足すと0.1%ずれるかもしれませんが、概ねそのような区分になっています。</p> <p>⑨ 商品開発補助金ですが、藤枝のものを使うのが条件で、令和3年1品、令和4年6品、5年1品、補助金の活用実績があります。販売の成果は各事業所に確認していませんが、今後確認方法について検討していきたいと考えています。</p> <p>⑩ 沿線沿いの事業者と個別に協議しています。内容は、現在の施設の状況のヒアリング、今後の観光についてのお話、さらには盤尻地区の観光資源の掘り起こしについて何かありますかなど、意見交換をしています。</p> <p>⑪ ②半導体について、成果があったことはわかりました。大事なのは次の段階で、どういう会社か把握しているのであれば、そこと接触を深めていく中で、立地の可能性の角度を高めることが重要です。企業が求めている土地の評価ですが、40ヘクタール、企業から求められているという話がありました。ただ可能性、期待値がどのぐらいと見るかによって40ヘクタールなのか10ヘクタールなのか、大きな差があると思いますが、現時点で企業が求めている土地はどのぐらいの面積だと評価してるのか伺います。</p> <p>⑫ ④⑤高齢者ではなく障がい者に関しても具体的な取組は足りないと思います。今後議論を進めるという答弁ですが、少なくとも1期、2期とやってきている中で成果が出ていないとすれば、これまで通りの取組ではとても足りないということになりますので、もう少し福祉部門もそうですし、今までとは違った取組を意識してやってほしいと思います。そうすると、氷河期に関しても周知をするということですが、周知だけではなかなか届かないと思いますので、かなり踏み込んだ取組を期待します。答弁いただければと思います。</p> <p>女性デジタル人材についてはわかりました。それで構いません。</p> <p>⑬ ⑦求人倍率、前回の第2期の計画と比べ、それほど変わっていません。計画の最後のページに目標が設定されていますが、目標設定としては悪化しています。目標としては、従業員が不足と回答した企業の割合を、前回よりも今回も下げようという計画ですが、これが前回と比べて上がっていると、先ほど吉永</p>
-------------------------------	--

委員の質疑で、調査の元々のベースが違うから、割合が変わっているとのことですが、業種によって求人倍率の違いが大きいですから、数字つくれますよね。今回かなり高い数字出していますから、次回幅広く取れば自動的に下がってしまう。そうすると、目標と設定しているこの値自体の妥当性が問われると思いますが、もう少し多角的な視点ですとか、他のものも含めてやらないと、意味のない目標値になると思いますが、その点について考えを伺います。

⑭ ⑧負担割合はわかりました。こども園が入っていますが、この間の話からすれば、こども園への負担部分は、大規模な修繕費用になると、市の負担になるのか、こども園が負担するという形にはならないのか伺います。

⑮ ⑨近年、何品か新商品の開発をしてきたということでした。コロナ禍ということもあり、なかなか商品が世に出たということを知りませんが、以前から話していたのは、作ったはいいけれども販売が十分ではなく、過去にも予算、決算で聞いたときは、PRが問題だという話をずっとしてきています。ただこの間、ふるさと納税や様々な販路がある中で、市民に認知されていないとすると、補助金として出すことの意義が問われると思っており、今回見直しをするだけでは不十分だと思います。もっと売っていくとすれば、市民にも認知され、市民が外に持って行ってくれる、それによりさらに認知が高まり、外からも買ってもらえるという流れが必要だと思いますが、市民に認知をされる取組も併せて必要だと思いますが、その点についての考えを伺います。

⑯ ⑩観光でも主要な事業者が、大きな営業の転換をするという話です。そういったことがもし起きれば、そもそも盤尻地区における観光投資をすることの必要性自体が問われる大きな変化だと思いますが、そのことに関してどういう情報収集をし、把握をした上でまだ進めようとしているのかどうかです。何も動きがないということで、そのように進もうとしているのか、どんな動きがあっても、十分に観光の波及効果を取込めるから進めようとしているのか伺います。

上山商工労働課長

⑪ 現時点ではアンケートの結果から40ヘクターという認識であり、製造業、半導体いずれについても、どのような企業かは委託の成果報告でもらっていますので、もちろんこれは貴重な企業誘致の資料と認識をしております。そういった部分にヒアリングアプローチしていきたいと、これまでも同様な調査をしたときにはしていますので、同様にやっていきたいと考えています。

⑫ 人材確保計画ですが、もう少し踏み込んだ取組といったところも踏まえ、全く同じでいいとは思っていませんので、踏み込んだ取組が検討できるよう、計画の推進委員会では進めていきたいと思っています。

⑬ 目標の設定ですが、今回から人材確保計画をつくるためのアンケートを取る企業の対象を第2期のときから変えたこともあり、悪化した数字についてということはあるとは思いますが、次回は、今回と同様な調査対象で考えていきたいと思っていますので、数字としては比較ができるものと考えています。

⑭ 基本的には、この先どうなるかはわからない部分もありますが、原則としては、所管課の予算ということで協議しています。

⑮ 市民の認知度ですが、こちらについても課題として捉えており、エニマルシェアフェアでも、16日から実施予定ですので、そういった機会を有効に活用し、

廣瀬花と緑・観光課長	市民の認知度を上げていく努力はこれからも続けたいと考えています。
柏野委員	<p>⑩ 民間事業者の転換、閉鎖もありますが、盤尻地区は観光資源、滝、公園、様々なものを感じています。歴史的遺産、さらにはソフト事業の可能性もあると考えていますので、基本構想に基づき取り進めていきたいと考えています。</p> <p>現時点で40ヘクタールという認識で進んでいくと、私は大きく道を誤ると思います。今後、市街地の開発を進めるとき、40ヘクタールのニーズの中には、他市に立地を考えているけれども、可能性があるという評価をしているところも入っていますよね。そこも含めて40ヘクタールが本当にニーズがあると評価すれば、現実とはかけ離れたものになると思いますので、もう少し考え直す必要があると思います。特に答弁要りませんが、もし考えがあれば伺います。</p> <p>次に資料④、目標値の設定は、次回も今回と同様の形でやっていくので、継続的な評価ができるということでした。ただ今回の評価は、令和5年度の99社に対して行っている調査で、61社が不足しているという評価をしたから61%と非常に高いわけですね。令和元年度は371社に調査して、人材が不足しているのは37.2%、138社だった。だから前回の規模に戻していくから、もうちょっと安定した数字が出ますと言うならわかりますが、調査する会社数を少なくするから、同じデータが取れるということだと、本当に人材不足の状況を把握して検証していこうとしているのか理解ができず、もう少し主観的なところだけではなく、実際に何人募集をして何人採用できたとか、もう少し客観的な数値も含めた検証を行わないと、指標としては不十分だと思います。考え多分変わらないと思うので特にいりません。</p> <p>⑪ ⑩観光資源があるから観光振興していくというのはこれまでどおりですよ。ただ、市としてやっていくのは、観光資源があって、そこに人が来てもらうことが地域の経済波及効果に繋がるからやるという話であれば、民間事業者が撤退したり、業態変換をすれば、当然その波及効果が変わってきます。それをわかっていて進めていこうとするのかは結構大きな違いで、だから民間事業者と接触をしている中でそういう情報があったら、きちんと把握した上で適切な評価や見直しが必要だと思います。考えを最後に伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	⑫ いろいろ波及効果ということもありましたが、先ほどの市内周遊プランも盤尻観光の一つと考えています。波及効果がなければ、目的ではありますが、盤尻観光は、いろいろな資源がありますので、ぜひ進めていくべきと考えてます。
	<p style="text-align: center;">14時36分 休憩</p> <p style="text-align: center;">14時45分 再開</p>
武藤委員長	再開いたします。広瀬課長から発言の申し出がありますので、許可します。
廣瀬花と緑・観光課長	先ほど早坂委員からご質問あった恵庭のレクリエーション施設自由広場にキッチンカーを設置した場合の使用料ですが、1日1平方メートルあたり100円、物品の販売です。

松島委員	<p>① 資料⑧、ルルマップふれらんどについて、サウンディング型市場調査の参加申込みは3月15日までとなっていますが、現在何件来てるのか伺います。</p> <p>② 昨年示していただいた基本構想の中でもありましたが、キャンプ場としてはターゲットは、まだ決まっていないと思いますが、こういった形で考えているのか伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>① 申込状況ですが、現在2件となっています。</p> <p>② キャンプ場について、利用客はファミリー層を予定しており、ファミリー層が来ることにより、長期化、滞在型にしたいと考えています。</p>
松島委員	<p>③ ②盤尻地区でも、市内でも、現在キャンプ場があるところと、これから検討するところと、また新たにふれらんども検討するということですが、キャンプをやりたい方のニーズはいろいろあり、魅力あるキャンプ場としてしっかりと計画を立ててほしいと思いますが、新たなキャンプ場、魅力ある、遠くからでも来たいという、そういったキャンプ場として、冬も楽しめる状況なのか、また、遠くからでも気軽に来れるという意味ではグランピングのような形も今後検討する余地があるのか伺います。</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>③ 様々な意見があると思いますが、民間事業者の話を聞きたいと思っており、いろいろな特色あるキャンプ施設ができているということもあり、サウンディングの中で民間事業者の意見を聞きながら進めていきたいと思っています。</p>
松島委員	<p>今後、民間事業者の意見を聞いてということですが、エリアも新たにいろいろな形で検討するということですが、恵庭は見晴らしも良く、魅力があり、何度も足を運びたくなるような、十分に楽しめるというところを今後検討してほしいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
川股委員	<p>① 盤尻地区観光、まちづくり事業化構想について、1ページの表、2番目、集客・収益性の確保のところ旧浄水場跡地施設の都市公園化とありますが、これはどのようなことを考えているのか伺います</p>
廣瀬花と緑・観光課長	<p>① 盤尻地区の浄水場の跡地利用ですが、いろいろな事業展開を行うに当たり、市街化調整区域ということもあり、都市公園化することにより、様々な建物が建てられるようになったり、レクリエーションや案内施設ができるということで、都市公園化しようということも構想になっています。</p>
川股委員	<p>② 手法の一つとしてということですね。この委員会だったと思いますが、浄水場跡地に現地調査に行き、旧浄水場建物、今遺跡を少し納めています。その裏は結構広い、掃った枝を置いたり、残土を捨てて整地したりという形でやっていたと記憶しています。恵庭は今、鹿の被害で農家も含めて大変困っている状況で、あの中に囲いわなやくくりわなで捕まえた、生きている鹿を放す牧場、道東にあります。そこで良質な草を食べると臭いが減って、それに併設して処理場、屠殺して、生肉を売るなり、あるいは供給するなり、小・中学校の子どもたちの給食に使うなり、高タンパク、低脂肪、そして鉄分の高い鹿肉が目の前にあります。そして、角や皮を加工品として売る、大演習場の周りに増えて困っている鹿ですが、一つ違う目線で見ると、それを資源として使っていく方法もあると思います。都市公園化により、そういった建物も建てることができ</p>

	<p>ば、財源をどうするかは別として、一つの方法として、一石二鳥のやり方があると思ひ提案しますので、ぜひとも検討の一部にさせていただき、困っている農政、農家の方々も含めて、そういったことで解決できる一つの方法になり、観光資源としても、鹿牧場、鹿の里、そういったものを人に見せる、売店がある。そういうのも、一つの盤尻の入り口で展開できると考えていますので、ぜひともお願いしたいと思ひますし、副市長にも感想を聞かせてもらいたいと思ひます。</p>
江川 経済部長	<p>副市長にというお話ですが、私から全体的な考えをお答えします。囲いわなの設置や、そこで処理をして、加工して観光資源にするというお話ですが、農業サイドから言うと、やはり鹿の農業被害があります。一方では、観光資源にもなり得るというお話かと思ひますが、それは全体的な市として、農業、観光を区分するのではなくて、今後どういったことができるのか、そういったことも含めて経済サイドとして、どういったことができるのか、内部で検討していきたいと考えています。</p>
川 股 委 員	<p>わかりました。よろしくお願ひします。捕まえた鹿を放牧する、見世物にする、いわゆる人を呼ぶ、横には処理場がある、そして加工する、販売のところもある。それが盤尻の入り口にあつて、人を呼べるようなことが一つの起爆剤になるといいと思ひますので、検討の一部にしてほしいと考えています。</p>
横 道 副 市 長	<p>鹿の提案をいただきましたが、今、国でも率先して鹿の駆除も頑張っています。ただ囲いわなは、莫大な経費がかかり、その後、また同じ場所に入るという確証もない中で、今のところは難しいかなと思ひますが、参考意見として聞かせていただきます。</p>
	<p>1) 報告事項終了</p> <p>2) その他所管事務調査について</p>
川 原 委 員	<p>【質疑】</p> <p>① 今回、市住の借上げ、P F I方式の議決をしました。今回は、部外の手業者と地元業者の競争でしたが、目からウロコの発想での提案だったと思ひます。今回の落札は大きな金額でしたし、市内事業者等からはそのハレーションを耳にしています。決して私も反対していませんし、理由も述べてはいますが、なぜ地元企業がそういうものに参画できないのか、参画したけれど、市外の手業者にとられるというハレーションです。評価点も全部見させていただき、公正中立に判断しているのは十分理解しています。その中で、本市は中小企業振興基本条例を持っています。審議会も持ち、中小企業の育成に恵庭市は取組んでいます。そこで評価点の中に、通常なら地元事業による評価点、これはプラスになる形で今までであった気がします。ところが今回のP F I事業は、担当が違うから答えられるかわかりませんが、それなりの資格を持った地元事業者だとか、そういう評価点の項目がありませんでした。今回の落札の話をするときに、地元の振興に対する条例もあることについての評価点は必要ではないかというこ</p>

嘉屋経済部次長	<p>とは、経済部として企画の話の中に参画する必要があったのではないかと。今回はそれがありませんでしたので、何か答えがあればお聞かせください。</p> <p>① 入札、プレゼン等々の方法に市内企業を取り入れるような、経済部から意見ができなかったのかということですが、担当が総務部の管財・契約課であり、その内容についての答弁は差し控えさせていただきたいと思います。</p>
横道副市長	<p>① 要項の中には地元の評価点も当然ありますが、評価の点数の付け方も、様々で、他市においても、何社以上は何点だとか、そういった評価の方法もありますが、今回その部分については、同様の評価という要項となっていたという状況です。そういった中で地元企業も、この事業に参画できるように、受注業者にはお話しをさせていただき、なるべく地元で仕事があるようにということで話しておりますので、今後こういった形での入札等があるかどうかわかりませんが、そのときには地元の企業育成の観点も入れながら、入札も進めていきたいと考えています。</p>
川原委員	<p>② ぜひお願いします。ただ今回の判断は決して間違っていないし、本当に目からうろこの新しい契約形態、提案だと思っています。ただ、地元にとって参画は、中小企業振興基本条例を持っていて、裾野の広い建設業は大きく影響します。努力しているのは理解しましたが、これから多分、たくさんあるような気がします。そういうときは、評価点の中に点数が低くても結構ですから、地元という評価点を入れることにより、振興条例に基づいた判断材料になるのではと思います。参加するための地元という表現でなく、実際の優劣を決めるための点数配分するときに、そこに地元という文言を必ず入れる。これが条例の基づく意義があるのではないかと感じました。1点入れても負けたものは負けています。だけど次は多分、地元も馬鹿ではありません。お話し聞いたら、我々の考え方も変えなければいけない、努力すると言っていたと耳にしました。ただ、評価項目に地元という言葉は絶対入れてほしいと、それによって今まで答弁があったことに全部答えていけることではないかと思っています。無理やり駄目なのに、取り扱うとかいうことを求めているわけではありません。評価点、地元を入れる判断、いかがでしょうか。総務部が決めることだから知らなかったというのは、とんでもない話です。部長会議とかで発言していただき、自分は関係ないということにならないし、やはり入れるべきだと経済部では言って欲しいと思いますが、ご意見をお願いいたします。</p>
横道副市長	<p>② 入札行為ですので、公平公正をしっかりと堅持しながら、当然市内の企業の育成も含めて、十分理解しながら事業を進めたいと考えています。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程3. 建設部関連終了</p> <p>(執行部入替え)</p> <p>●日程4. 水道部関連</p>

<p>長谷上水道課長 ” 平井下水道課長</p>	<p>1) 報告事項 資料説明 ⑮恵庭市排水設備指定工事店に関する規程の改正について 資料説明 ⑯水道配水用ポリエチレンパイプの採用について 資料説明 ⑰ウォーターPPPの導入について</p>
<p>吉永委員</p>	<p>【質疑】 ① 資料⑯、硬質塩化ビニル管が21キロ残っていて、これを新しいHPPEに交換するということと、本市の水道管は鉛管とか、他のポリ管、古いタイプはもうないので、その他は铸铁管に全て切り替わっていることをまず確認します。</p>
<p>長谷上水道課長</p>	<p>① 硬質塩化ビニル管を耐震化ということで、铸铁管に変わってきていますが、今後はポリエチレン管に変わっていきます。今、市で敷設している管種は、ダクタイル铸铁管が327.4キロ。硬質塩化ビニル管が99.8キロ、このうち21キロが硬質塩化ビニル管でもTS継手というものになります。それからポリエチレン、これは50ミリのポリエチレン管ですが、これは給水用のポリエチレン管で、これが97.3キロ、あと鋼管とステン管が1キロ程度あるという状況です。</p>
<p>吉永委員</p>	<p>② にわかに理解はできませんが、だんだんと耐震等の対策を取っていると、一番残っている21キロをこの最新の管に変えるということがわかりました。採用に至る経緯で、他市の採用実績や費用の削減効果、それから確認できたということですが、21キロだけが耐震で、後はそのまま古いといえますか、最終的に21キロは間違いないですが、その他の铸铁管等のところは、地震にどうなのかということと、採用に至るまでの耐震精度や施工性、腐食性、衛生性、この辺もう少し費用が削減できるのか、費用の面も含めて確認します。</p>
<p>長谷上水道課長</p>	<p>② 今回、配ポリエチレン管を採用した要因としては経済性が一番のポイントとなっており、資料3ページの2、口径50ミリから150ミリの表、書いています。令和5年までは50ミリであれば、ポリエチレン管を採用しており、75ミリから150ミリはダクタイル铸铁管を使っていました。メーター当たりの金額になります。令和6年度からで、2ですが、全て今回採用する配水用のポリエチレン管に変わることによって、さらに右側の方、単価の差ということで、経済性が良いということがここで確認されています。</p>
<p>吉永委員</p>	<p>③ 能登半島の地震で火災が起き、そのときに消火栓が壊れて給水できず、火災が延焼したということもあります。恵庭市の消火栓の状況について伺います。</p>
<p>長谷上水道課長</p>	<p>③ 消防から消火栓は50年経過すると更新するということで今考えており、その考えのもとに水道部は受託して、更新を行っています。</p>
<p>柏野委員</p>	<p>① 資料⑯、2ページの6番、施工要件として、受講して品質の確保という記載があります。今現状の指定業者の中ではどの程度受講していて、受講することを要件とすることで参入障壁とはならないか伺います。 ② 資料⑰、ウォーターPPPですが、2ページ目の4で導入の可否の検討を行うという記載です。その後の社会資本整備総合交付金の要件化というところからすると、何か逃げ道はないようにも見えますが、可否の判断はあり得るのか伺います。</p>

平井下水道課長	② 社会資本整備総合交付金の要件化は急遽出てきた話で、今こういう検討で重要になっているのは間違いありませんが、今後の汚水の整備に関する社会資本整備総合交付金の要件化になり、今後の整備の予定の関係もありますので、今後の事業費との兼ね合い、ウォーターPPPにすることで、逆にもっと支出が増えるということや、今の体制上何か問題があるというデメリットがあれば選択しない、また、受け手がどうしてもいないという状況が考えられるのであれば、なかなか難しいという判断になると思います。
長谷上水道課長	① このポリエチレン管については近隣市でも採用しており、恵庭市の業者でも、他市で仕事をしていることもあり、何社かは講習を受講して、受講証をもらっています。ただ、我々もゼロ市から、そういう工事が始まるということで、業者は、3月12日にその協会の講習会を受ける、全員受ける形で今進めています。 1) 報告事項終了 2) その他所管事務調査について 【質疑】
早坂委員	① 恵庭の水はすごく美味しい水ですが、それを市民に周知していないのではという点ですが、去年の市のホームページに載っている水質検査で、硬度が22ということは軟水ですね。硬度が22とか、恵庭市の水が北広とか江別まで行って、エスコンフィールドで飲まれている水も恵庭の水だとか、そういうことを市民に周知してもらえば、市民も理解が進んで、美味しい水の里、恵庭は美味しい水を飲んでいることがわかると思いますが、どうでしょうか。
長谷上水道課長	① 恵庭市の水は石狩東部企業団で浄水された水であり、恵庭市それから北広、千歳、長沼に配水されてる水で、同等の水ですので、これをどうやって周知するかということだと思いますが、水質検査を行った上で、ある程度美味しい水という基準を確か設け、今どういう基準かわかりませんが、基準のもと美味しい水だと判断しており、ホームページにも載せているかと思います。
早坂委員	② 市のホームページを見る人は少ないと思います。恵庭市の水は硬度22といえば、素晴らしい軟水だということで、例えばはなふるで、消毒用のカルキを抜いて、水が取れたりすれば、水汲みにも来ると思います。はなふるは花と水の道の駅と言われていますが、美味しい水が飲める恵庭だということをPRすれば、さらに移住者の呼び込みにも貢献すると思いますが、どうでしょうか。
小林水道部長	② 緑化フェアで、恵庭のこの精製した水、企業団で作られた水をペットボトルで無料配布しました。非常に好評でしたし、自分自身家で飲んでいても美味しいと感じる一方で、近隣、例えば明泉、名水ですとか、湧水いわゆる地下水ということであれば、様々な、観光客も含めて楽しめる場所、その名水を汲めるということであればいいんですが、精製している水ですから、そういう場を提供するのは困難と感じていますが、恵庭の水のPR、この地で飲める水は安心安全だというPRにしっかり努めなさいという叱咤激励の声として受け止めたので、今後様々な形でPRを重ねていきたいと考えています。

早坂委員	③ コーヒーやお茶を飲むのに消毒用の塩素を取ってその水を使いたいという希望者も結構いますが、例えばはなふるあたりで、カルキを除いた水を取水用に出せば、公園に容器を持って水汲みに来る人もいると思うし、増えると思いますが、その点について伺います。
小林水道部長	③ 恵庭の有収水率を考えると、漏水や、公園とか公共用で、料金としてはね返らない水が増えると、公営企業の会計上も問題がありますから、こういった形で美味しい水を提供できるのかも大事ですが、公益企業として企業を維持していかなければならないという部分も併せてPRの仕方を今後検討します。
川股委員	① マンホールの遮熱、断熱の状況について、今までの実績と令和5年の設置状況、6年度は何件設置しようと考えているのか、マンホールの数で、あと残りいくつあるのか伺います。
平井下水道課長	① 令和5年度末時点で、1,320ヶ所設置しています。令和5年度は、260ヶ所実施しています。令和6年度も、約250ヶ所を予定しており、新しく下水道工事設置する部分は100ヶ所、既存のマンホール蓋に設置するのは約150ヶ所を想定しています。今後の見通しですが、マンホールの数が約1万8,500ヶ所あり、そのうち1,320ヶ所が終わっており、もし全箇所に行くとなると、非常に年数がかかります。今年度、マンホール段差に対応したパトロール箇所が280ヶ所ぐらいあり、パトロール中に暖気が来たため、数はもっと多いとは思いますが、その前に大雪が降った令和3年だと525ヶ所程度の対応をしている実績があり、その数ですと、残り3年ぐらいで対応できると思いますが、それ以外の箇所も多数あり、まだ時間がかかると思います。汚水マンホール、もし全ヶ所入れるとすると、約9,000ヶ所あるので、単純に計算すると50年ぐらいかかる計算にはなりますが、局所的にひどいところを中心に、年間150できれば、もう少し多くやっていけばと考えています。
川股委員	② 私が議員である間には終わらないというのはわかりましたが、マンホールの蓋ごと取替えているのでしょうか。
平井下水道課長	② 蓋ごととは交換しておらず、発泡スチロールみたいなものを蓋を開けてそこに入れて、蓋にぶら下げるといふか、設置して、なるべく蓋に近い部分で固定して、下からの熱を遮断するというものです。
川股委員	③ 断熱シート、マンホールの上に穴が開いていて、引っ掛けて取るため、そこから雨水が入ります。そういったものを処理できる断熱のシートもあります。値段はわかりませんが、今予算でやっていくと結構年数かかるので、最新型で、安価で、もっと普及すれば、同じ予算でも、多くのマンホール蓋に改良でき、冬に段差が起きないと思い、今回質疑しましたが、穴が開いて、車通って、バンパーを引っかけて壊れて、でも、保険効きません。市で管理責任を問われる保険、これはドライバーの目視不足といふか、ただ吹雪で埋まって何もわからないところに落ちると、どうしようもないですが、穴が開いてる部分は、自らの責任で運転してくれということのようです。そういった部分もあって、安心して車を運転できるようにいち早く進めてほしいのですが、何せお金のかかることですから。これから様々な研究して進めてほしいと考えていますので、よろしく

<p>平井下水道課長</p>	<p>お願いします。</p> <p>③ 現在の断熱蓋を何社か試験して今のものに決めているところで、今後もっと安価で良いものであれば、情報収集をしながら、できるだけ数多くできるように進めていきたいと思います。</p> <p>2) その他所管事務調査について終了</p> <p>日程4. 建設部関連終了</p> <p>(理事者・執行部退席)</p> <p>●日程5. 閉会中の所管事務調査項目について</p> <p>半導体プロジェクト、人材確保計画、観光行政、道路橋梁整備、有害鳥獣対策の中で、委員長、副委員長一任</p> <p>●日程6. その他</p> <p>なし</p> <p>委員長が閉会を告げる。</p> <p>(15:58終了)</p>
----------------	--